

体験農園レポート～始動に向け畑の視察～

ほのぼの堀之内では、生活リハビリの一環として、畑を借り体験農園を実施しております。

先月のつなぐでもお知らせしましたが、2月は土壌の更新作業の為、体験農園はお休みさせて頂きました。

3月から始動の予定ですが、今回農園の場所が同じ敷地内ですが変更された為

先日視察を行い、担当者から説明を受けてまいりました。



3月からの作業はまず土作りから始めます。畑を耕し、土に空気を含ませ、水はけを良くして土壌の微生物の働きを活発にする事が必要なのだそうなので、しっかりと準備をし春野菜の種蒔きに備えたいと思います。来月から活動の様子をお伝え致します。

季節の行事～桃の節句のご報告～

先日、3月3日に桃の節句にちなんだ、雛飾り作りを行いました。

予め、台紙に卵形の紙貼り、それを和紙で着物のように張り付けてから、金の紙で作った冠や笏(しゃく)を張り付けて、皆さん思い思いに装飾して頂きました。最初は「難しい」とお話しされる方も



もいらっしゃいましたが、職員が隣に付いて、一緒に行うと、少しずつ完成に近づいて来られ、ご利用者同士、お互いの作品を「綺麗にできたわね」「家に帰ったら飾りたい」とお話をされていました。こういった行事を通して、皆様に四季を感じて頂ければと思います。



●3月のイベント情報●

・3月の体験農園は、3月19日(土)25日(金)29日(火)30日(水)31日(木)を予定しています。準備が整い次第ジャガイモの定植やホウレンソウ・小松菜の種蒔きを行います。

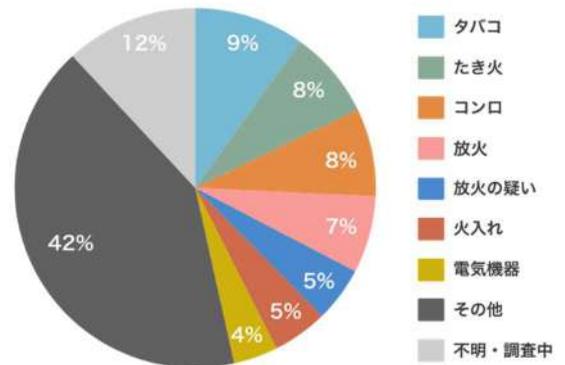
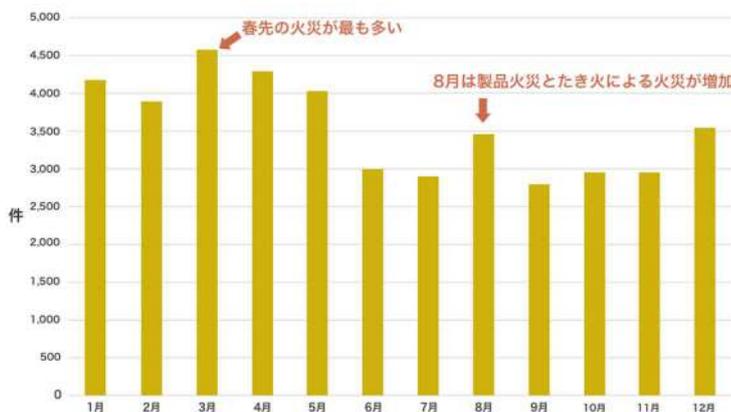
ご存知でしたか？～火災は春先に注意～

皆様、冬は火災が多いというイメージをお持ちの方がいらっしゃるかと思いますが、実は火災の発生件数が一番多いのは3月(過去10年平均)だという事をご存知でしたか？今回はその理由と、対策についてお知らせしたいと思います。3月は空気の乾燥が続く事と、偏西風(南風)の影響で風が強く吹く日が多い為、火災が発生し延焼する危険性が高いとの事です。

出典：総務省消防庁「消防統計(火災統計)」

(月間火災件数10年平均)

出火原因内訳



出火原因は上の右図をご覧ください。1位はタバコとなっていますが、4位の放火と5位の放火の疑いを足すと、1位になる事から放火が原因となっている火災も多いというのも注目するポイントです。

火災予防のポイント

習慣①寝たばこは絶対止める②暖房機器は燃えやすい物から離れた位置で使用する③ガスコンロから離れる時は必ず火を消す。

対策①住宅用火災報知器を設置する②寝具・カーテン・衣類等は防災品を使用する③住宅用消火器を設置する④近所の協力体制を作る⑤家の周りに燃えやすいものを置かない⑥物置や車庫には鍵をかける

毎年3月1日～3月7日は「春季全国火災予防運動」の期間です。この時期に今一度、ご自宅の防火対策、自宅の周りに燃えやすい物等が置いてないか等、確認する機会にして頂ければと思います。